

平成 18 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 日本ファルコム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山崎伸治  
(コード番号： 3723 東証マザーズ )  
問 合 せ 先 取締役コーポレートユニット部長 阿部敬史  
(TEL. 042-527-0555 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 11 月 17 日の決算発表時に公表した平成 18 年 9 月期 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,450	500	290
今 回 修 正 予 想 (B)	1,077	110	65
増 減 額 (B-A)	△373	△390	△225
増 減 率 (%)	△25.7	△78.0	△77.6
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 17 年 9 月期)	1,286	467	277

#### 2. 修正の理由

平成 18 年 9 月期の業績予想につきましては、売上高が前回予想に比べて 25.7%減の 1,077 百万円になる見通しとなりました。売上高の減少額の内訳は、ライセンス部門が 246 百万円、製品部門が 127 百万円であります。売上高が減少したことから、経常利益、当期純利益につきましてもそれぞれ減少する見通しとなりました。

ライセンス部門につきましては、当第 4 四半期に家庭用ゲーム機向けのロイヤリティ収入を見込んでおりましたが、新規契約等が計画通りに進まず、当初計画を下回る見通しとなりました。見込んでおりましたロイヤリティ収入は、当社が開発販売したパソコン向けゲームソフトを、家庭用ゲーム機向けに移植販売する権利の提供によるロイヤリティ収入であり、契約締結時に契約金(最低保証金)を売上高に計上する予定のものでありましたが、現在の家庭用ゲーム機市場は、いわゆる次世代機が発売される前の端境期であり、市場の見通しも不透明である事等の要因から、当第 4 四半期中にはライセンス見込先企業との契約締結に至りませんでした。

また、製品部門につきましては、平成 17 年 10 月に「ザナドゥネクスト」(パソコン向けゲームソフト)を、平成 18 年 3 月に「空の軌跡 SC」(パソコン向けゲームソフト)、平成 18 年 6 月に「ぐるみん」(プレイステーション・ポータブル向けゲームソフト)を発売し、それぞれほぼ

計画通りの販売数となりましたが、平成 18 年 9 月 28 日に発売予定の「空の軌跡 FC」（プレイステーション・ポータブル向けゲームソフト）、平成 18 年 9 月 29 日に発売予定の「幻想三国志Ⅱ」（パソコン向けゲームソフト）の 2 タイトルにつきましては初回出荷の受注数が伸び悩み、現時点におきまして当初計画を下回る見通しとなりました。

一方、売上原価及び販管費につきましては、製品販売見込の減少に伴い製造原価は低減したものの、販売促進活動に注力したことにより、広告宣伝費、販売促進費が増加し、売上原価及び販管費の合計額は当初計画に対して微増となりました。

以上のことから、平成 18 年 9 月期の業績予想につきましては、誠に遺憾ながら、前回予想に比べ、売上高が 25.7%減の 1,077 百万円、経常利益は 78.0%減の 110 百万円、当期純利益は 77.6%減の 65 百万円に修正することとなりました。

今後につきましては、引き続き高いクオリティの優秀なコンテンツを制作し続けるとともに、安定的なライセンス収入が見込める携帯電話機向けゲーム配信及びオンラインゲームへのライセンス営業を強化し、収益に結び付けてまいり所存であります。

また、韓国、中国、北米企業との関係強化を図り、海外での売上高の増加も目指してまいります。

### 3. 当期の配当方針について

当期の業績予想につきましては、当初計画を下回る修正をいたしましたものの、当期純利益を計上できる見通しであることから、当期の配当予想は、平成 17 年 11 月 17 日の決算発表時に公表したとおり 1 株につき 600 円の予定であり、修正はありません。

以上

---

〈業績等の予想に関する注意事項〉 この資料に記載されております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。